

ネイティブ サーモアクチノマイセス インターメディウス フェニルアラニン デヒドロゲナーゼ

Cat. No. NATE-1906

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 フェニルアラニン脱水素酵素は、グルタミン酸脱水素酵素、アラニン脱水素酵素、ロイシン脱水素酵素、リジンε-脱水素酵素、メソ-α,ε-ジアミノピペリン酸D-脱水素酵素を含む、大きなアミノ酸脱水素酵素ファミリーの一員です。知られている三つの遺伝子配列はオクタマーです。二つのドメインを持つ三次元構造をしています。

別名 フェニルアラニン脱水素酵素; EC 1.4.1.20; L-フェニルアラニン脱水素酵素; PHD; 69403-12-9

製品情報

由来 サーモアクチノマイセス・インターメディウス

外形 硫酸アンモニウム懸濁液

EC番号 EC 1.4.1.20

CAS登録番号 69403-12-9

分子量 ca. 380,000; Subunit molecular weight : ca. 40,000.

比活性 30 U/mgタンパク質以上

混入物 (PheDH活性 = 100 %) NADHオキシダーゼ: < 0.01 %; 乳酸脱水素酵素: < 0.01 %.

pH安定性 5.0 - 10.0

最適pH 11.5

熱安定性 50 °Cまでの活動の減少は認められません。

ミカエリス定数 (200 mM Gly-KCl-KOH バッファー、pH 11.0、30 °C にて) L-フェニルアラニン: 0.66 mM; NAD+: 0.05 mM.

特異性 L-フェニルアラニン: 100 %; L-チロシン: 7.6 %; L-メチオニン: 1.5 %.

単位定義 1単位の活性は、30°Cで1分あたり1μmolのNADHを生成するPheDHの量として定義されます。

反応 L-フェニルアラニン + NAD+ + H2O ↔ フェニルピルビン酸 + NH4+ + NADH

保管・発送情報

保存方法 0から4 °Cで少なくとも6ヶ月間安定 (凍結しないでください)。